

学校番号	406
------	-----

令和3年度 国語科

教科	国語科	科目	現代文B	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	「新編現代文B」(数研出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ

- ・3年生は卒業を間近にひかえた学年です。社会人として必要不可欠な言葉遣いや正しい日本語を学ぶとともに、その言葉を使って相手に物事を伝えられる豊かな表現力を身につけましょう。
- ・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
- ・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
- ・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
- ・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

- ・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
- ・目的や場に応じた的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
- ・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
- ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
- ・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲 ・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析(ワークシート) 定期考査	行動の観察記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1 学期	随想 一	教材: 「物語の外から」、「カフェの開店準備」ワークシート	○			◎	○	a: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト
	小説 一	教材: 「山月記」、「カンガルー日和」ワークシート	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	話す・聞く	教材: 「自己PRをしよう」ワークシート	○	◎			○	a: 何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。 b: 何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えている。 e: 話すこと・聞くことに必要な文の組立てについて理解している。	a、b、e: 行動の観察と確認
	評論 一	教材: 「最初のペンギン」、「豊かさとは生物多様性」ワークシート	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
2 学期	詩	教材: 「竹」「永訣の朝」ワークシート	○		◎		○	a: 物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描こうとしている。 c: 物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できよう描いている。 e: 詩を書くときに必要な文章の形態や文体の違いや修辞法について理解している。	a、c、e: 行動の観察と確認 記述の点検

	評論二	教材： 「言葉は世界を切り分ける」 「もう一つの知性」	○		◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	小説二	教材： 「靴」ワークシート	○		◎	○	a:物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描こうとしている。 c:物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描いている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。	a、c、d: 記述の点検と確認及び分析
	ディベートを行う	教材： 「ディベートをしてみよう」、 ワークシート	○	◎		○	a:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合おうとしている。 b:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。 e:話すこと・聞くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b、e: 行動の観察と確認及び分析
3 学 期	評論三	教材： 「ホンモノのおカネの作り方」、 「未来のありか」ワークシート	○		◎	○	a:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合おうとしている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:論理的な文章のための接続や修辞について理解している。	a: 行動の観察と確認及び分析 d、e:記述の点検
	小説三	教材： 「葉桜と魔笛」、ワークシート、	○		◎	○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書こうとしている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、c、e: 記述の点検と確認及び分析

3 学 期	書く	教材： 「文集をまとめよう」原 稿用紙	○		◎		○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書こうとしている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、c、e: 記述の点検と確認及び分析
-------------	----	---------------------------	---	--	---	--	---	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力 d:読む能力 e:
知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。